



我孫子地区は昔、手賀沼を愛した白樺派の文人たちが住んでいたうな〜。見どころがたくさんあるうな〜。

嘉納治五郎別荘跡

講道館柔道の創始者で教育者の嘉納治五郎は明治44年に我孫子に別荘を建てました。現在は市民の方の力により嘉納治五郎の銅像が建てられています。



天神坂

大正時代、我孫子に集まった文人たちが愛した坂です。志賀直哉や武者小路実篤らが柳宗悦夫妻が住んでいた坂の上の三樹荘に集まる際に使っていたそうです。



杉村楚人冠記念館

明治から昭和まで活躍した国際的ジャーナリスト、杉村楚人冠が過ごした場所です。大正ロマンを感じさせる建物は映画のロケなどにも使われています。



白樺文学館

大正時代、雑誌『白樺』を刊行した志賀直哉や柳宗悦ら白樺派と呼ばれる文人たちは我孫子に住んでいました。彼らの書簡や、白樺派に関する芸術家の絵画、ブロンズ像などを展示しています。



志賀直哉邸跡

大正4年〜12年まで我孫子に住んでいた志賀直哉はこの地で様々な作品を執筆しました。その志賀直哉の家を移築し、復元しています。切妻造の書齋は本人が設計し、我孫子の名工佐藤鷹蔵が建てました。



旧村川別荘

親子二代にわたり西洋古代史学者であった村川堅固が建設し、堅太郎が守った別荘です。敷地内には母屋と新館があり、昭和30年代までは部屋から沼で遊ぶ鳥を見ることができたそうです。



空から見る
我孫子市
～我孫子地区～